

4月25日：鉄鋼株が反発するも、指数は下落

火曜日はリスクオフの動きが優勢となり、外国人の売りも増加したことがマーケットに重くのしかかり、指数は続落した。

ホーチミン市場のVN指数は6.51ポイント安の1,034.85ポイント(-0.63%)で引けた。同指数は直近の3営業日で14ポイント超、下落していた。

市場では弱気な見方が支配し、204銘柄が下落したのに対し103銘柄が上昇した。流動性は月曜日から若干増加し、出来高は5億40百万株、売買代金は9.4兆ドン(4億1百万米ドル)だった。

大型株30銘柄で構成するVN30指数は9.13ポイント下落し、1,037.04ポイント(-0.87%)で引けた。30銘柄のうち27銘柄が下落し、2銘柄が上昇、1銘柄は変わらずだった。

ハノイ取引所では、HNX指数が二日続落し、2.07ポイント安の204.69ポイント(-1%)で引けた。

同取引所の売買代金は1.2兆ドンで、出来高は8,847万株だった。

下落を牽引したのは大型の製造業、石油・ガス、銀行などだった。特に、マサン・グループ(MSN)は2.73%下落が目立った。

またPVガス(GAS)、ベッティンバンク(CTG)、テックコムバンク(TCB)、VPバンク(VPB)なども1.03%-1.69%下落が目立った。

他にはビンホームズ(VHM)、ビナミルク(VNM)、ビンコムリテール(VRE)なども下落した。

半面、鉄鋼株は堅調な動きとなった。ホアファット・グループ(HPG)が1.94%、ホアセン・グループ(HSG)が2.4%、ナムキム鉄鋼(NKG)が1.81%、ポミナ鉄鋼(POM)が0.22%、ソンホン・アルミ(NSH)が2.33%上昇するなどした。

市場では、政府による好材料となるニュースが相次いで出ていたにも関わらず、弱気な姿勢が支配していた。

ベトナム国家銀行(SVB)は月曜日、4月24日より国内銀行や外国銀行の支店が、社債の売出から12か月を待つことなく買い戻せることを発表した。

また日曜日には、SBVは銀行が事業に行き詰っている融資先の企業を支援するため、返済条件を見なおし、債務の分類を変えないことを許可する通達を出していた。

火曜日は両取引所で外国人投資家は売り越した。売り越し額は、ホーチミン市場で1,407億ドン、ハノイ市場では40億ドンとなった。

。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。